



The 40th Business Report

第40期 報告書 平成28年1月1日～平成28年12月31日

BP カストロール株式会社





BPカストロール株式会社
代表取締役社長 小石 孝之

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、BPカストロール株式会社「第40期 報告書」をお届けいたします。

ごあいさつ

当社は、中期5ヵ年計画(2013-2017)の中で、経営ビジョンとして下記を掲げております。

2016年は、「当期の概況」に記載しましたとおりディーラー向け新製品の投入や「CO₂ニュートラル」コンセプト製品の拡大展開、そして、株主様への利益還元と経営ビジョンの実現に向け取り組んで参りました。

2017年は、欧州を中心に選挙や政治イベントが多く予定されており、その結果や施策が世界経済・原油価格・為替・国内経済へどのような影響を及ぼすか予断を許さない状況にある中、当社は中期5ヵ年計画(2013-2017)の最終年を迎えます。

当社といたしましては、この4年間の施策を推し進めると共に、従来思考にとらわれることなく役職員一人ひとりが創造力を働かせ今期の計画達成に取り組んで参ります。

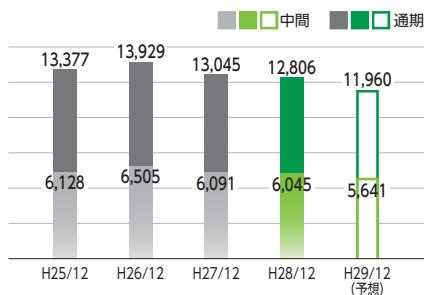
株主の皆様におかれましては、今後とも、「Castrol」、「BP」ブランドへの変わらぬご愛顧と、当社へのより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

Financial Highlights

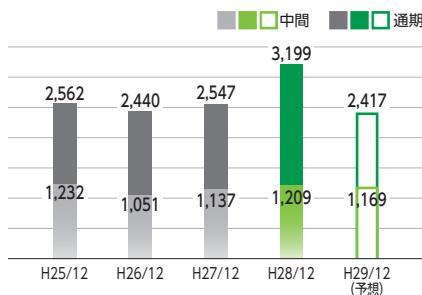
売上高

単位：百万円



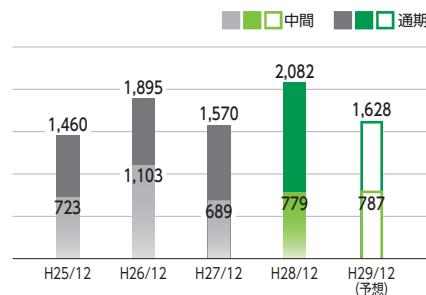
経常利益

単位：百万円



当期(四半期)純利益

単位：百万円



当期の概況

新車販売台数が前年実績を下回り推移する中、当社の強みであり消費者の関心も高い環境配慮型の低粘度・省燃費のプレミアムオイル、オートマチックミッション用オイルの積極的な拡販に引き続き焦点を当てました。旗艦製品である「カストロールエッジ」ブランドの高品質・高性能のアピール、そして、10月にはディーラー向け専用トランスミッション用オイルを新たに発売いたしました。同時に「CO₂ニュートラル」コンセプトをエンジンオイルから更に拡大展開し、環境保全の取り組みなども紹介しながら、製品付加価値の訴求に取り組みました。また、オイル交換時に手軽にエンジン内部を洗浄できる特長を持つエンジンシャンプーの拡販により、引き続きエンジンオイル関連製品の充実にも注力いたしました。

これらの結果、売上高は12,806百万円、経常利益3,199百万円、当期純利益2,082百万円となりました。

当期の期末配当につきましては、配当方針に基づき1株当たり65円とさせて頂きました。

次期の見通し

国内経済は、政府による各種政策などにより、景気は緩やかな回復基調で推移していくと推測されますが、英国のEU離脱問題に伴う不透明感の高まりやアメリカの今後の政策による世界経済の動向、原油価格や為替の変動など世界経済の先行きは未だ不透明で予断を許さない状況にあります。

自動車用潤滑油市場全体としては新たな需要の押し上げ要因は見当たらず、売上数量・売上高は減少傾向が継続すると予測しております。

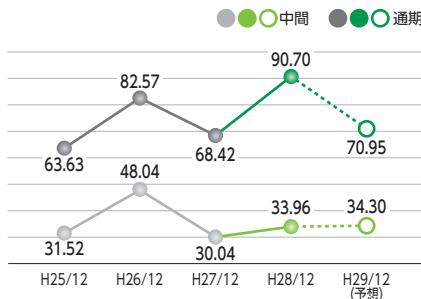
このような経済環境の下、当社といたしましては、環境配慮型の低粘度・省燃費商品の拡販、マーケットニーズに合致した新商品の導入、プレミアム商品の消費者への更なる訴求、新規取扱店の拡大に加え、引き続き原価低減・コスト削減に注力することにより、売上高11,960百万円、経常利益2,417百万円、当期純利益1,628百万円を計画しています。

経営 ビジョン

消費者・カスタマーのニーズを第一に考慮し、BPグループのグローバルパワーを活用し、差別化された潤滑油製品および関連製品・サービスを提供し、長期的な信頼と価値を築き継続的に業績を上げていけるベストブランド・メーカーを目指します。そして、安全かつ刺激的な職場環境を社員に提供し、利益成長を実現し、サステナブル(持続可能)であり、かつマテリアル(大規模)なビジネスを実現することで業界をリードする利益を株主に提供します。

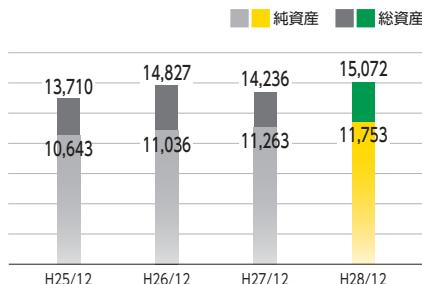
1株当たり当期(四半期)純利益

単位：円



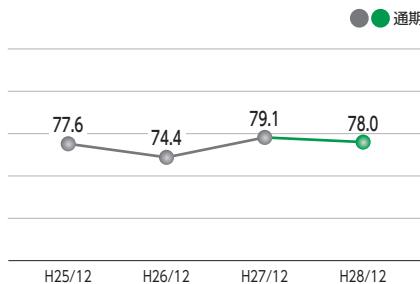
純資産／総資産

単位：百万円



自己資本比率

単位：%



CO₂ニュートラルへの取り組みを更に拡大

2015年にディーラー向け専用エンジンオイル「カストロールプロフェッショナル」において導入を開始した「CO₂ニュートラル」コンセプトをディーラー向け専用トランスミッションオイルにも展開いたしました。「Transmax ATF Professional FE」また同時に新発売した「Transmax CVT Professional」をラインナップに加え、製品の差異化を通じ、引き続き販売を推進して参ります。

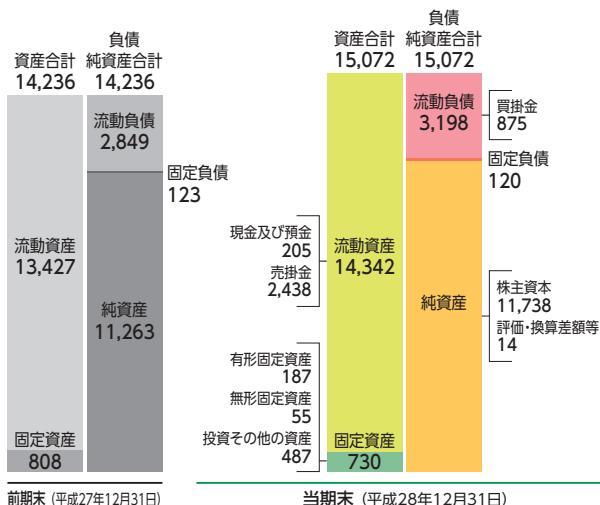
カストロールプロフェッショナル製品は、エンジンオイル・トランスミッションオイルでは世界初「CO₂ニュートラル」の正式な国際認定を受けました。

製品設計に施したCO₂排出量への配慮に加え、CO₂削減プロジェクトで創出された「オフセット・クレジット」(排出権)を活用しカーボン・オフセットすることで、CO₂排出量を実質ゼロとし、環境改善、よりクリーンなドライビングの実現に貢献するものです。CO₂など温室効果ガス排出量の削減は自動車業界において最重要課題のひとつであり、ビジネスパートナー様との関係においてこれを重要施策のひとつと位置づけ、今後も、革新的な製品開発・提案を続けて参ります。

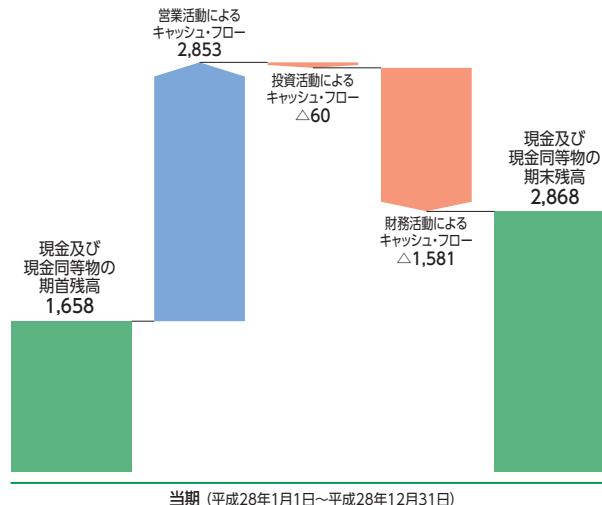


● 単位:百万円、百万円未満切り捨て

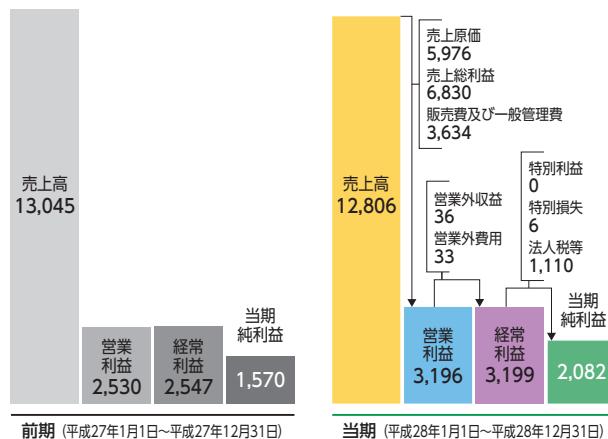
貸借対照表の概要



キャッシュ・フロー計算書の概要



損益計算書の概要



● 売上高

売上高は、環境配慮型の低粘度・省燃費のプレミアムオイル、オートマチックミッション用オイルの積極的な拡販、新製品の発売、そして、製品付加価値の訴求に取り組むことで12,806百万円となりました。

● 純資産

純資産の残高は、11,753百万円(前事業年度末は11,263百万円)となり、489百万円増加いたしました。これは、主に利益剰余金が当期純利益により2,082百万円増加し、剰余金の配当により1,584百万円減少したことによるものです。

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、2,853百万円(前年同期比1,635百万円の増加)となりました。これは、主に税引前当期純利益が3,193百万円、減価償却費の計上が147百万円であり、また売上債権の減少236百万円、その他の資産の減少110百万円、その他の負債の増加100百万円により資金が増加した一方、仕入債務の減少152百万円、未払金の減少50百万円及び法人税等の支払額685百万円により資金が減少したことによるものです。

●平成28年12月31日現在

会社の概況

商号	ビーピー・カストロール株式会社 英文名:BP Castrol K.K.
本社	〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー20階 TEL:03-5719-6000(代)
設立	1978年9月
事業内容	英国の石油会社BP p.l.c.が持つCastrolブランド およびBPブランドの自動車用潤滑油を日本市場 に合わせて製造・販売
資本金	14億91百万円
従業員数	109名(17名) (注)臨時従業員数は、()内に年間の平均人数を外数で記載 しております。
子会社	ビーピー・ルブリカンツ株式会社 カストロール株式会社

役員

取締役会長	チャールズ・ポッスルズ
代表取締役社長	小石 孝之 カストロール株式会社代表取締役社長兼務 ビーピー・ルブリカンツ株式会社代表取締役社長兼務
取締役	長浜 靖子
取締役	渡辺 克己
取締役(監査等委員)	東松 国明
取締役(社外、監査等委員)	松竹 直喜
取締役(社外、監査等委員)	渡邊 直文

株式の概況

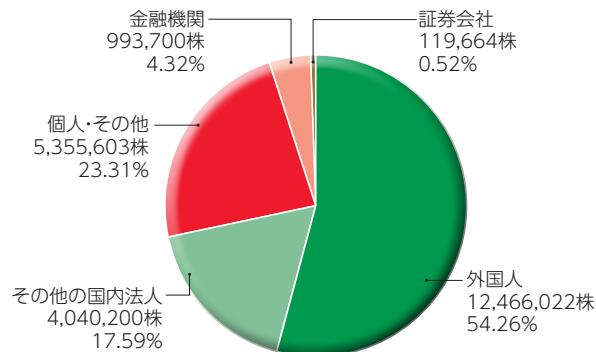
発行可能株式総数	118,000,000株
発行済株式の総数	22,975,189株
株主数	8,598名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
カストロール・リミテッド	12,234,273	53.24
ティー・ジェイ株式会社	2,661,748	11.58
日本自動車整備商工組合連合会	1,144,512	4.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	263,500	1.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	118,300	0.51
鈴木 育男	110,000	0.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	105,500	0.45
三島 泰	100,500	0.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	91,100	0.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	90,900	0.39

(注)出資比率は、自己株式を含む発行済株式の総数に対する比率を表示しています。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	
定時株主総会	毎年3月	
基準日	定時株主総会	12月31日
	期末配当金	12月31日
	中間配当金	6月30日
公告方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
郵便物送付先 (電話照会先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。	

●住所変更、単元未満株式の買取、配当金の受取方法のご指定等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●配当金計算書の送付について

配当金のお支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告される際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

マイナンバーに関するお知らせ

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。

このため、株主様から株式をお預けの証券会社などへ、マイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、税務署へ提出する支払調書には、株主様のマイナンバーの記載が必要になります。

主な支払調書

- ・配当金に関する支払調書
- ・単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券会社にて株式をお預けの株主様

株式をお預けの証券会社までお問い合わせください。

証券会社にて株式をお預けでない株主様

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部までお問い合わせください。

☎0120-782-031



BP カストロール株式会社
<http://www.bpcastrol.com>



カストロール ブランド
<http://www.castrol.com/jp>



BP ブランド
<http://www.bp-oil.co.jp>

BP カストロール株式会社

本社 IR担当 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー20階
TEL:03-5719-7750
URL:<http://www.bpcastrol.com>

証券コード 5015



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷するとともに、針金を使わない「ECO綴じ」製本を採用しています。